

デイリーストラテジー

2013年4月16日(Tue)

本日のイチ押しチャート・・・ NYMEX天然ガス 5月限

* 需給構造が大きく変化しているのなら、まだ強気の流れが続く



Source: Futuresource 日足、20日、40日移動平均

- 本日の売買戦略 -

買い: NYMEX天然ガス5月限
売り: CBOTダウ平均6月限

- タイミング待ち -

買い: ドル/円
売り: CBOT小麦、コーン(新穀)、ICE砂糖、ユーロ/ドル

- 強弱見通し傾向表 - (赤字は強気、青字は弱気変更)

強気	天然ガス コーヒー
中立・様子見	米国債 ドル/円 金
弱気	株価指数 ユーロ/ドル 小麦 コーン 砂糖 原油 大豆

- 本日の注目データ - (時間はNY時間)

時間	項目	対象銘柄	注目度	事前予想	強気シナリオ	弱気シナリオ
8:30	3月消費者物価指数	株価指数・FX・金	A-	0.1%	-	-
8:30	3月住宅着工件数	株価指数・FX	A	93.0万戸	94万戸～	～91万戸
8:30	3月建築許可件数	株価指数・FX	A	94.5万戸	96万戸～	～92万戸
9:15	3月鉱工業生産指数	株価指数・FX	A	0.3%	0.6%～	～0.1%
9:15	3月設備稼働率	株価指数・FX	A-	78.4%	78.6%～	～78.2%
16:30	API石油在庫統計-原油	原油	B	82万バレル	～100万バレル	200万バレル～
	- ガソリン	原油・ガソリン	B	42万バレル	～150万バレル	150万バレル～
	- 留出油	原油・暖房油	B	39万バレル	～150万バレル	150万バレル～
	- 製油所稼働率	原油・石油製品	B	0.05pt	0.8pt～	～0.2pt

ストラテジーコメント

原油 …… 夜間取引では一時 86 ドル割れをうかがうまで値を下げたものの、その後しっかりと回復。ようやく相場にも売られ過ぎ感と言うのが出てきたようだ。ただ、これで相場が下げ止まったとは、まだとても言える状況ではない。本日は独 ZEW が予想以上の大幅低下、前日には中国の GDP が低い伸びにとどまったし、頼みの米国でも弱気の経済指標が目立つようになってきた。世界的な景気減速に伴う需要の伸び悩みという売り材料は、今後も相場の大きな重石となり続けるだろう。株高の進行も、これ以上の押し上げ要因とはならないかもしれない。 **＝弱気＝**

天然ガス …… 目先は強気の流れが続く可能性は高いと考える。4 月に入ってからの上昇が、季節外れの寒さが続いた事によるものではなく、これまで長い間割安だった天然ガスにエネルギー需要のシフトが進んだことや、LNG 輸出への準備が着々と進む中で、長期的な需給構造の変化を先取りした買いだったのであれば、ここで上昇が打ち止めとなる理由はどこにもない。目先はそのあたりのところを、しっかりと見極めることが重要となりそうだ。 **＝堅調＝**

金 …… 夜間取引では一時 1,320 ドル台まで下げ幅を広げたが、その後しっかりと値を回復、プラス圏での推移となっている。ただ、これで相場が下げ止まったとは、決して言える状況ではない。現時点ではここまでの急落で売られ過ぎ感が高まったというよりも、ここまでの急落でボラティリティーが上昇していると捉えておくべきだ。当然、ポジションは縮小させるべきで、急落後の反発を狙ってロングを仕掛けることや、更なる下落に期待してショートを積み増すような真似は、決してするべきではない。相場が落ち着くまでは、様子見に徹しておけばよい。 **＝様子見＝**

小麦 …… 目先はかなり不安定な相場展開になることは覚悟しておいた方がよいが、中長期的には足元の需給の弱さを背景に流れが弱気に傾くと予想する。特に中国の 1-3 月期 GDP が予想以下の伸びにとどまった事には注意が必要、世界的な景気減速に伴う需要の伸び悩みが、この先市場に大きく意識されるようになる可能性は高いだろう。6 月の収穫期に向けて 6 ドル割れを試す展開になることも、十分にあり得るのではないかと。 **＝弱気＝**

コーン …… 目先はこのまま下落の流れが強まると予想する。中国の GDP が予想を下回るなど、世界的な景気低迷による需要の伸び悩みが懸念される中、米国の輸出回復が相場を押し上げるといったシナリオは描きにくくなった。一方この先天候が回復し作付作業が順調に進むなら、市場の注目は過去最高を大幅に更新すると見られている新穀の生産に集まるようになる。夏の天候相場までに 12 月限は 5 ドルを割り込むことになるだろう。 **＝弱気＝**

大豆 …… 目先はこのまま弱気の流れが続くと予想する。中国の 1-3 月期 GDP が予想を下回る伸びとなり、景気減速が鮮明となってきたことの意味は大きい。同国では鳥インフルエンザの感染が拡大、鶏肉消費の減少によって飼料需要が伸び悩むとの懸念もあるだけに尚更だ。一方ブラジルからの供給が市場に出回るようになえる中、米産の輸出が更に伸び悩む可能性も高い。中国の需要、ブラジルの生産という鍵となる材料が共に弱気に傾いているのだから、それに逆らってまで無理に買いを仕掛けるべきではないだろう。 **＝弱気＝**

砂糖 …… 目先は今年度の世界市場が大幅な供給過剰となり、次年度のブラジルの生産増によって供給過剰が続くとの弱気見通しを背景に、下落の流れが続くと予想する。また中国の GDP が予想を下回る伸びにとどまったことにも注意。原油や大豆、非鉄金属などをはじめ、同国の景気減速圏はほぼ全ての商品に対して弱気に作用する可能性が高く、砂糖も例外ではない。直近の安値を割り込めば、次は 17 セント割れが下値目標となるだろう。 **＝弱気＝**

コーヒー …… まだしばらくは 130 セント台半ばを中心としたレンジ内で不安定な展開が続くと予想するが、中長期的には流れが強気に傾いてくるだろう。中米のさび病感染被害は思った以上に深刻、この先生産見通しが大幅に引き下げられるのは確実なのにもかかわらず、市場では不思議なほどに材料視されていない。今後何かをきっかけにこの材料に対して注目が集まるようになれば、一気に買いが集まってくることも考えられよう。 **＝中長期的に強気＝**

為替・株 …… 前日にはボストンで爆破テロが発生、安全資産として大きく円が買い戻されたが、その後は市場が落ち着きを取り戻すにつれ再び円安の流れが強まっている。ただ円安の進行に対しては欧州や新興国から警戒感も強いし、米国も財務省が先週金曜に議会に提出した為替報告書で、日本に対して通貨安競争に陥ることにならないよう求める方針を示すなど、一方的な円安の進行に対して政治的な障害が大きくなる可能性も高い。しばらくは些細な材料でも円が買い戻されやすい、不安定な状態が続くことになりそうだ。 **＝円売られ過ぎ＝** **＝株高値警戒＝**

シミュレーショントレードの結果

- 現在のポジション -

2013年4月15日 NY17:00 現在

想定元本 - \$500,000

銘柄	限月	B/S	枚数	エントリー	終値	リスクライン	損益	開始来
NYMEX 原油	5月限	Sell	6.22	93.64 (4/10)	88.71	88.84	+\$30,683	+\$62,971
NYMEX 天然ガス	5月限	-	0.00	0.000 -	4.137	-	\$0	+\$433
COMEX 金	6月限	-	0.00	0.0 -	1,361.1	-	\$0	+\$127,275
CBOT 小麦	7月限	-	0.00	0 -	699-1/4	-	\$0	+\$80,365
CBOT コーン	12月限	-	0.00	0 -	531-1/2	-	\$0	+\$124,770
CBOT 大豆	11月限	Sell	11.51	1218 (4/15)	1207	1215-4/9	+\$6,332	+\$152,907
ICE 砂糖	5月限	-	0.00	0.00 -	17.79	-	\$0	+\$46,409
ICE コーヒー アラビカ	5月限	Buy	5.08	136.15 (4/10)	134.45	130.86	-\$3,237	+\$147,808
CBOT 10年債	6月限	-	0.00	0 -	133-2/32	-	\$0	-\$31,201
CBOT ダウ平均	6月限	-	0.00	0 -	14,512	-	\$0	+\$19,922
ドル/円	-	-	0.00	0.00 -	96.59	-	\$0	+\$117,294
ユーロ/ドル	-	-	0.00	0.0000 -	1.3045	-	\$0	+\$54,186

累計 **+\$903,140**

- 現時点での成績 -

4月	10.38%
2012年	18.06%
開始来 (2006年11月)	180.63%

- トレード状況 -

ポジション・オープン

CBOT 大豆 11月限: 1218 で売り

ポジション・クローズ

COMEX 金 6月限 ショート: 1374.8 で手仕舞い、利益 93,634.57 ドル

* シミュレーショントレードのルールについては、<http://yosoukai.com/strategy/simulation-rule.html> をご覧下さい

このレポートは、弊社顧客向けに配信されている有料サービスです。
購読にご興味のある方は、services@yosoukai.com までお問い合わせください。

当レポートで提供している内容は、信頼に値すると判断した情報を基に作成されていますが、あくまでも情報提供が目的であり、その結果について責任を負うものではありません。
シミュレーショントレードの結果は、ある一定の条件に基づいた仮想取引の計算結果であり、実際に運用した場合の成績を保証するものではありません。
投資の決断は、投資家自身の判断に基いて下してください。先物取引はリスクの高い取引であり、多大な損失をもたらす場合があります。投資を行う前には 十分な考慮が必要です。